

別表2 系・分野・分科・細目表

(1)平成22年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表

系	分野	分科	細目名	細目番号	備考	系	分野	分科	細目名	細目番号	備考
総合・新領域系	総合領域	情報学	情報学基礎	1001		人文社会科学系	哲学	哲学・倫理学	2801		
			ソフトウェア	1002				中国哲学	2802		
			計算機システム・ネットワーク	1003	A			印度哲学・仏教学	2803		
			メディア情報学・データベース	1004	A			宗教学	2804		
					B			思想史	2805		
					B			美学・美術史	2806		
								芸術学	2851		
								芸術学・芸術史・芸術一般	2851		
								日本文学	2901		
								英米・英語圏文学	2902		
					ヨーロッパ文学(英文学を除く)		2903				
					各国文学・文学論		2904				
					言語学		3001	※			
					日本語学		3002				
					英語学		3003				
					日本語教育		3004				
					外国語教育		3005	※			
					史学一般		3101				
					日本史		3102				
					東洋史		3103				
					西洋史		3104				
					考古学		3105				
					人文地理学		3201				
					文化人類学		3301				
					基礎法学		3401				
					公法学		3402				
					国際法学		3403				
					社会法学		3404				
					刑事法学		3405				
					民事法学		3406				
					新領域法学		3407				
					政治学		3501				
					国際関係論		3502				
					理論経済学		3601				
					経済学説・経済思想		3602				
					経済統計学		3603				
					応用経済学		3604				
					経済政策		3605				
					財政学・金融論		3606				
					経済史		3607				
					経営学		3701	※			
					商学		3702				
					会計学		3703				
					社会学		3801	※			
					社会福祉学		3802				
					社会心理学		3901				
					教育心理学		3902				
					臨床心理学		3903				
					実験心理学		3904				
					教育学		4001	※			
			教育社会学	4002							
			教科教育学	4003	※						
			特別支援教育	4004	※						
		脳神経科学	神経科学一般	1101							
			神経解剖学・神経病理学	1102	A						
			神経化学・神経薬理学	1103	B						
			神経・筋肉生理学	1104	A						
				B							
			融合基盤脳科学	1105							
			融合脳計測科学	1106							
			融合社会脳科学	1107							
			実験動物学	1201							
			実験動物学	1201							
		人間医工学	医用生体工学・生体材料学	1301	A						
			医用システム	1302	B						
			リハビリテーション科学・福祉工学	1303	A						
		健康・スポーツ科学	身体教育学	1401	A						
			スポーツ科学	1402	B						
			応用健康科学	1403	A						
		生活科学	生活科学一般	1501	A						
			食生活学	1502	B						
		科学教育・教育工学	科学教育	1601	※						
			教育工学	1602	※						
		科学社会学・科学技術史	科学社会学・科学技術史	1701							
		文化財科学	文化財科学	1801							
		地理学	地理学	1901							
		腫瘍学	発がん	1951							
			腫瘍生物学	1952							
			腫瘍免疫学	1953							
			腫瘍診断学	1954							
			臨床腫瘍学	1955							
			がん疫学・予防	1956							
		環境学	環境動態解析	2001							
			環境影響評価・環境政策	2002	A						
			放射線・化学物質影響科学	2003	B						
			環境技術・環境材料	2004	A						
		ナノ・マイクロ科学	ナノ構造科学	2101	A						
			ナノ材料・ナノバイオサイエンス	2102	B						
			マイクロ・ナノデバイス	2103	A						
		社会・安全システム科学	社会システム工学・安全システム	2201	A						
			自然災害科学	2202	B						
		ゲノム科学	ゲノム生物学	2301							
			ゲノム医科学	2302							
			システムゲノム科学	2303							
			応用ゲノム科学	2304	A						
		生物分子科学	生物分子科学	2401	B						
			資源保全学	2501							
		地域研究	地域研究	2601							
		ジェンダー	ジェンダー	2701							

備考欄において、「A、B」と表示のある細目は、全ての種目においてキーワードにより分割されたグループ毎に第1段審査を行うので、これらの細目に応募する場合には、「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧(33～48頁参照)により、必ず、A又はBを選択し、応募してください。

「※」の表示のある細目は、基盤研究(C)においてキーワードにより分割されたグループ毎に第1段審査を行うので、基盤研究(C)で、これらの細目に応募する場合には、「系・分野・分科・細目表」付表キーワード一覧により、必ず「1」～「5」の分割番号を選択し応募してください。

基盤研究(C)については、審査希望分野として、本表のほか「時限付き分科細目表」(30～32頁参照)に掲げる12細目を設定しています。

系	分野	分科	細目名	細目番号	備考	系	分野	分科	細目名	細目番号	備考
理工系	数物系科学	数学	代数学	4101	※	生物系	農学	農学	育種学	6001	
			幾何学	4102					作物学・雑草学	6002	
			数学一般(含確率論・統計数学)	4103					園芸学・造園学	6003	
			基礎解析学	4104					植物病理学	6004	
			大域解析学	4105					応用昆虫学	6005	
		天文学	天文学	4201				農芸化学	植物栄養学・土壌学	6101	
		物理学	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	4301	※				応用微生物学	6102	
			物性Ⅰ	4302	※				応用生物化学	6103	
			物性Ⅱ	4303					生物生産化学・生物有機化学	6104	
			数理物理・物性基礎	4304					食品科学	6105	
	原子・分子・量子エレクトロニクス		4305		森林科学	6201					
	地球惑星科学	生物物理・化学物理	4306		木質科学	6202					
		固体地球惑星物理学	4401		水産学一般	6301					
		気象・海洋物理・陸水学	4402		水産化学	6302					
		超高層物理学	4403		農業経済学	6401					
		地質学	4404		農業土木学・農村計画学	6501					
	化学	基礎化学	層位・古生物学	4405		農業環境工学	6502				
			岩石・鉱物・鉱床学	4406		農業情報工学	6503				
			地球宇宙化学	4407		畜産学・草地学	6601				
			プラズマ科学	4408		畜産学・畜産学	6602				
			物理化学	4601		基礎獣医学・基礎畜産学	6603				
		複合化学	有機化学	4602		応用獣医学	6604				
			無機化学	4603		臨床獣医学	6605				
			分析化学	4701		境界農学	6701				
			合成化学	4702		環境農学	6702				
			高分子化学	4703		化学系薬学	6801				
	材料化学	機能物質化学	4704		物理系薬学	6802	※				
		環境関連化学	4705		生物系薬学	6803					
		生体関連化学	4706		創薬化学	6804					
		機能材料・デバイス	4801		環境系薬学	6805					
		有機工業材料	4802		医療系薬学	6806					
	工学	応用物理学・工学基礎	無機工業材料	4803		基礎医学	解剖学一般(含組織学・発生学)	6901	※		
			高分子・繊維材料	4804			生理学一般	6902			
			応用物性・結晶工学	4901			環境生理学(含体力医学・栄養生理学)	6903			
			薄膜・表面界面物性	4902			薬理学一般	6904			
			応用光学・量子光学	4903			医学一般	6905			
		機械工学	応用物理学一般	4904		病態医学	6906				
			工学基礎	4905		人類遺伝学	6907				
			機械材料・材料力学	5001		人体病理学	6908	※			
			生産工学・加工学	5002		実験病理学	6909	※			
			設計工学・機械機能要素・トライボロジー	5003		寄生虫学(含衛生動物学)	6910				
	電気電子工学	流体工学	5004		細菌学(含真菌学)	6911					
		熱工学	5005		ウイルス学	6912					
		機械力学・制御	5006		免疫学	6913					
		知能機械学・機械システム	5007		医療社会学	7001					
		電力工学・電力変換・電気機器	5101		応用薬理学	7002					
	土木工学	電子・電気材料工学	5102		病態検査学	7003					
		電子デバイス・電子機器	5103		衛生学	7101					
		通信・ネットワーク工学	5104		公衆衛生学・健康科学	7102					
		システム工学	5105		法医学	7103					
計測工学		5106		内科系臨床医学	内科学一般(含心身医学)	7201					
制御工学	5107		消化器内科学		7202	※					
土木材料・施工・建設マネジメント	5201		循環器内科学		7203	※					
構造工学・地震工学・維持管理工学	5202		呼吸器内科学		7204	※					
地盤工学	5203		腎臓内科学		7205	※					
建築学	水工学	5204			神経内科学	7206	※				
	土木計画学・交通工学	5205			代謝学	7207	※				
	土木環境システム	5206			内分泌学	7208					
	建築構造・材料	5301			血液内科学	7209	※				
	建築環境・設備	5302			膠原病・アレルギー内科学	7210	※				
材料工学	都市計画・建築計画	5303		感染症内科学	7211						
	建築史・意匠	5304		小児科学	7212	※					
	金属物性	5401		胎児・新生児医学	7213						
	無機材料・物性	5402		皮膚科学	7214	※					
	複合材料・物性	5403		精神神経科学	7215	※					
プロセス工学	構造・機能材料	5404		放射線科学	7216	※					
	材料加工・処理	5405		外科系臨床医学	外科学一般	7301	※				
	金属生産工学	5406			消化器外科学	7302	※				
	化工物性・移動操作・単位操作	5501			胸部外科学	7303	※				
	反応工学・プロセスシステム	5502			脳神経外科学	7304	※				
触媒・資源化学プロセス	5503		整形外科学		7305	※					
総合工学	生物機能・バイオプロセス	5504			麻酔・蘇生学	7306	※				
	航空宇宙工学	5601			泌尿器科学	7307	※				
	船舶海洋工学	5602			産婦人科学	7308	※				
	地球・資源システム工学	5603			耳鼻咽喉科学	7309	※				
	リサイクル工学	5604			眼科学	7310	※				
生物学	基礎生物学	核融合学	5605		小児外科学	7311					
		原子力学	5606		形成外科学	7312					
		エネルギー学	5607		救急医学	7313					
		遺伝・ゲノム動態	5701		歯学	形態系基礎歯科学	7401				
		生態・環境	5702			機能系基礎歯科学	7402				
	植物分子生物・生理学	5703		病態科学系歯学・歯科放射線学		7403					
	形態・構造	5704		保存治療系歯学		7404					
	動物生理・行動	5705		補綴系歯学		7405					
	生物科学	生物多様性・分類	5706			歯科医用工学・再生歯学	7406				
		構造生物化学	5801			外科系歯学	7407	※			
機能生物化学		5802		矯正・小児系歯学		7408					
生物物理学		5803		歯周治療系歯学		7409					
分子生物学		5804		社会系歯学		7410					
人類学	細胞生物学	5805		看護学	基礎看護学	7501					
	進化生物学	5806			臨床看護学	7502					
	自然人類学	5807			生涯発達看護学	7503					
	応用人類学	5901			地域・老年看護学	7504	※				
	応用人類学	5902									

(2)平成22年度科学研究費補助金 系・分野・分科・細目表の別表

○時限付き分科細目表

分野	内 容	細目番号	設定期間
疼 痛 学	<p>「疼痛」は、人のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を低下させる大きな要因であり、鎮痛は21世紀における医療の最大課題の一つである。</p> <p>薬理学、感覚器学、神経科学などの分野で行われている「疼痛」に関する研究一例例えば、疼痛形成・制御機序に関する神経科学的・生化学的・分子生物学的研究、疼痛伝達・制御機序に関する神経生理学的・病態生理学的研究、疼痛形成・伝達に及ぼす情動の影響とその機序に関する神経生理学的・臨床心理学的研究、画期的鎮痛薬の探索、新規鎮痛薬の薬効、副作用とその機序に関する基礎薬理的、前臨床医学的、臨床医学的研究、難治性疼痛治療に関する学際的、融合的研究（ペインクリニック、臨床心理学等）、痛みの感受性を調節する遺伝要因、発生・発達・加齢や性による痛みの変化機構）等一を、「疼痛学」として総合的に推進されることを期待する。</p>	9025	平成18年度 ～ 平成22年度
博 物 館 学	<p>博物館は生涯学習社会の重要な機能を担う社会教育施設として全国的に設置されている。近年、自然系、人文系の双方を合わせた文理融合型の博物館が増加し、展示する思想・方法自体の研究も行われ、「展示する博物館」から「来館者が体験学習をする博物館」への脱皮を図る博物館やデジタルミュージアム・ヴァーチャルミュージアムなどの構想も着々と実施されている。</p> <p>考古学、文化人類学、社会教育学、建築学、保存科学などの分野を越えて、博物館における情報管理、博物館の運営、博物館における共通技術、生徒の理科離れ・高齢者の機能回復学習など新しい時代に即した研究を進めることにより、文化・歴史・科学に関する国民の理解増進への貢献を期待する。</p>	9028	平成19年度 ～ 平成22年度
ケミカルバイオロジー	<p>ケミカルバイオロジーは、化学の技術・方法論を駆使し生命現象を明らかにするポストゲノム時代の新学問領域である。種々の化合物の合成とそれらの生体内機能発現を観察する、あるいは化合物ライブラリーから生理活性を有すものを選択し、それらの機能発現を観察するといった研究が想定される。さらにはそれらの情報から生体機能の理解と制御を目指すとともに新世紀の生命科学の基盤を築く。ここから得た成果は医薬品シーズや診断薬の探索、特異的で環境負荷を考慮した農薬開発など、実用的な分野に役立つ可能性が高く、生物工学や環境科学などの発展にも大きな学問的影響を与える。関連分野として有機化学、生化学、生物学、薬学、医学、農学・水産学、微生物学、工学などが想定される。種々の化合物を起点とした「ケミカルバイオロジー」研究のさまざまな方面からの推進を期待する。</p>	9033	
量子ビーム科学	<p>量子ビームとは、波動性と粒子性を示すビームであり、電磁波ビーム（レーザー、X線、ガンマ線など）、レプトンビーム（電子、陽電子、ミュオン、ニュートリノなど）、ハドロンビーム（陽子、中性子、メソン、イオン）などがあり、エネルギー・波長領域も広範に及ぶ。近年、これらの多様な量子ビームの利用が、基礎科学研究のみならず、医療、産業などの広い分野で急速に進んでいる。こうした量子ビームの発生源の開発および利用法の開発研究を進めることは、加速器とその周辺分野の発展にとって重要であると同時に、基礎から応用に至る様々な分野で必要となる科学技術の基盤充実にもつながる。新たなビームの発生方法や新しい加速原理による加速器の小型化、量子ビームを利用した構造や機能解析の新しい手法など、分野を横断する基盤技術につながる研究を期待する。</p>	9034	平成20年度 ～ 平成22年度
元 素 戦 略	<p>有用元素の需給バランス不安定化の危機が懸念される昨今、特に資源の乏しい我が国においては、希少元素の枯渇への対応に加え、有毒元素の置換、あるいは汎用元素（ユビキタス元素）を用いた新機能開拓を目指す「元素戦略」を強力に推進することが求められている。例えば、液晶ディスプレイ用透明電極に用いられるインジウム、触媒用白金族元素や磁石用ディスプロシウムなどの枯渇は社会的影響も大きい。このような各種有用希少元素のユビキタス元素への代替ないしは使用量の大幅削減、さらには有害・有毒元素の無害な元素への置換を可能とする学術的基盤の確立が急務である。化学、物性物理、環境科学、材料科学などの理工系からの斬新で意欲的な研究に期待する。</p>	9035	

分野	内 容	細目番号	設定期間
子ども学 (子ども環境学)	<p>都市化、高度情報化、少子化、地域コミュニティの変化などにより、子ども（乳幼児期～青年期）をとりまく物理的・人的・社会文化的環境の質は悪化し、それが子どもの身体や心理に様々な影響を及ぼしている。子どもを育む視点に立った総合的な環境づくりは社会的にも学術的にも重要な課題である。</p> <p>子どもをとりまく環境に関する研究は、教育学、保育学、心理学、小児医学、公衆衛生学、児童精神医学、神経科学、体育学、建築学、都市工学、環境学、ロボット工学、認知科学など、多岐にわたる領域でなされてきているが、さらに学際融合的な研究が求められる。子どもをとりまく環境の問題について、建築・工学といった物理的環境（ハード）、教育や人的・社会文化的環境（ソフト）、そして子どもの身体や心理への影響を学際的・有機的にとらえる研究の推進を期待する。</p>	9036	
医学物理学・放射線技術学	<p>「医学物理学・放射線技術学」は、放射線医学等における物理学的・技術的課題を探求する研究分野である。近年、粒子線を用いた放射線療法、分子イメージング等の様々な診断技術をはじめ、放射線物理学を基礎にした様々な医療技術の開発・普及が急速に進んでいる。これらの放射線療法や画像診断等のニーズの高まりとともに、その基盤技術を支える基礎研究は、大きく広がりを見せる放射線医学にとって重要であると同時に、医用画像工学、放射線治療、粒子線治療、核医学、放射線防護等、基礎から臨床応用にいたる多岐の分野で必要となる技術・人材の育成にもつながる。本分野は、放射線医学等への臨床応用を主たる研究目的とするが、学問的な基盤・手法は理工学の領域に位置づけられ、理工学、医学などの分野を横断する基盤技術や新しい研究領域を根付かせる研究を期待する。</p>	9037	平成21年度 ～
バイオマスエネルギー	<p>環境問題や化石燃料の高騰などから、近未来の石油代替エネルギーのひとつとして、世界各国においてバイオマスエネルギー研究に対する期待はきわめて大きい。バイオマスからのバイオ燃料への変換技術、サーマルリサイクル技術、バイオマス資源の持続的生産技術の開発や、地域農業とバイオマスエネルギーの循環システムの構築などに加え、バイオマスの生合成・構造・機能発現に関連する基礎的な研究を主な研究分野とする。さらに、バイオマスエネルギーの生産増加による環境への影響に関する研究、さらに食糧問題や貧困問題への影響といった社会科学的な視点からの研究も含む。若手研究者の自由な発想に基づくボトムアップ型で、将来ブレイクスルーをもたらすような研究を期待する。</p>	9038	平成22年度
非侵襲的神経イメージング	<p>非侵襲的神経イメージング (Non-invasive neuroimaging) とは、ポジトロン断層撮影 (PET)、機能的磁気共鳴画像 (fMRI)、近赤外線分光法 (NIRS)、脳波 (EEG)、脳磁図 (MEG)、経頭蓋的磁気刺激 (TMS) 等の手法を用いて、非侵襲的にヒトの脳機能を計測する方法の総称である。新しい検査法の開発により解析解像度が飛躍的に向上した結果、神経科学領域に加えて、心理学、臨床医学への応用も急速に進んでいる重要な学際的研究領域である。主な対象分野も、神経科学一般の枠を超えて、認知科学、心理学、言語学、情報学、磁気科学、医用生体工学から臨床医学までの拡がりを持つ。非侵襲的神経イメージングにより、人文・社会系、理工系、生物系にまたがって幅広く分散する関連分野を統合して、高次脳機能の基本的メカニズムを解明する研究とともに、神経疾患の高次脳機能評価に結びつけるような意欲的な研究を期待する。</p>	9039	
共生・排除	<p>1980年代以降、先進諸国の中では社会的排除・不平等の拡大とそれへの社会的政策的対応としての社会的公正が大きな課題となってきた。わが国においても90年代半ば以降格差と社会的不平等の問題が、そして2000年代には貧困問題が社会的注目を浴びるに到っている。とりわけ、従来から注目されていた母子家庭や障害者・高齢者のみならず、若年者・子どもなどのより広い層への貧困や社会的排除の拡大や、一般的な社会経済的不平等に加えて医療・健康などにおける格差が新たに指摘されてきている。本分野には、貧困や排除・不平等の社会的な蓄積及び広がりについて、その実態把握と影響の測定と予測およびそれらについての理論的研究が含まれる。また、この問題に社会がどう取り組むかに関わっては、社会的排除の発生メカニズムや社会的排除に対応する政策研究、法制度分析等が含まれる。さらに、先進諸国における格差実態や政策動向の調査、法制度改正、途上国における貧困問題、歴史研究など、共時的・通時的比較研究も重要な研究課題となる。本分野の発展に大きく寄与する研究を期待する。</p>	9040	平成22年度 ～ 平成23年度

分野	内 容	細目番号	設定期間
デザイン学	<p>デザイン学は、人類の福祉と人間生活の充実のために、発達著しい技術に適切な進路を与えるもので、生活環境を支えるすべての事象である機器、家具、空間、建築、都市、地域文化、福祉・介護、メディア媒体、情報機器、情報コンテンツ、演劇などが対象となる。デザイン学には、デザインに係わる芸術工学をはじめ、設計工学、造形工学、建築学、景観学、生活科学、人類学、認知科学・心理学、人間工学、医学・衛生学、感性科学、感性工学、情報学、音響学、コンピュータ関連学、社会学、芸術学など幅広い領域を越えた知の融合が必要である。したがって、デザイン学には、人文・社会科学から科学技術にわたる広い知識と論理性、また芸術的感性と倫理性が求められる。本分野は、生活環境を構成する事象の個々の要素をはじめ、それらの集合体やしぐみ、それらと種々の文化からなる社会との組合せやシステムを対象として、人類の豊かな未来を創成するために文系・理系・芸術系融合型の領域を超えた連携による意欲的かつ創造性豊かな研究を期待する。</p>	9041	平成22年度 ～
メカノバイオロジー	<p>生体を構成する細胞は、重力のみならず体内の骨格筋や内蔵平滑筋の動きに起因する様々な機械刺激にさらされていると同時に、その刺激を感知して応答する。この仕組みが生体の機能維持に不可欠なことは、聴覚や触覚はもとより、宇宙飛行士の筋萎縮や骨粗鬆症を見れば明白である。また過剰な機械刺激（高血圧）は動脈硬化や心不全などの深刻な疾病を誘発する。一方、細胞の成長、分裂、形態変化、運動に伴って生じる力がフィードバックされてこれらの機能自体を調節している。その不全は発生異常や癌発症を導くとされている。このように細胞の機械刺激受容・応答能は生命を支える根幹機能であり、基礎生物学だけではなく、宇宙医学、再生医学、医工学、歯学や工学、農学の発展に欠かせない極めて重要な研究対象である。生体、細胞の有する機械刺激感知・応答機構を機軸に、関連する研究を統合して新しい学問領域の創造を目指す研究を期待する。</p>	9042	平成23年度

(注1) この表は、本表と併せて基盤研究(C)「一般」についてのみ適用されるものです。

(注2) 設定期間は公募を行う年度です。設定期間にかかわらず3～5年間の研究課題を対象とします。